



平成30年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年4月13日

上場会社名 株式会社SOU 上場取引所 東
コード番号 9270 URL <https://www.ai-sou.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 寿本 晋輔
問合せ先責任者 (役職名)取締役財務経理部長 (氏名) 大園 俊英 (TEL) 03(4580)9983
四半期報告書提出予定日 平成30年4月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年8月期第2四半期の連結業績(平成29年9月1日~平成30年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年8月期第2四半期	15,390	—	1,191	—	1,174	—	867	—
29年8月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 30年8月期第2四半期 864百万円(—%) 29年8月期第2四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年8月期第2四半期	155.12	—
29年8月期第2四半期	—	—

- (注) 1. 当社は、平成29年8月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、平成29年8月期第2四半期の数値及び平成30年8月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 当社は、平成29年11月25日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、当社株式は平成30年2月28日において非上場であり、期中平均株価が算定できないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年8月期第2四半期	11,917	4,031	33.8
29年8月期	10,092	3,265	32.4

(参考) 自己資本 30年8月期第2四半期 4,031百万円 29年8月期 3,265百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年8月期	—	0.00	—	88.00	88.00
30年8月期	—	0.00	—	—	—
30年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年8月期の連結業績予想（平成29年9月1日～平成30年2月28日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,732	31.1	1,693	64.4	1,710	50.1	1,122	96.6	193.71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年8月期2Q	5,594,785株	29年8月期	5,594,785株
30年8月期2Q	—株	29年8月期	—株
30年8月期2Q	5,594,785株	29年8月期2Q	—株

- (注) 1. 当社は、平成29年8月期第2四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、平成29年8月期第2四半期の期中平均株式数の記載を行っていません。
2. 当社は、平成29年11月25日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っておりますが、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済み株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で景気は回復基調で推移し、個人消費についても持ち直しの動きが見られました。一方で、北朝鮮をはじめとする地政学的リスクの高まりなど、海外諸国の政治・経済の不確実性や、金融資本市場の変動の影響への懸念から、先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような環境の下、当社グループは平成29年10月に、持ち物の査定や現在価値の管理ができるスマートフォンアプリ「miney(マイニー)」をリリースし、同年12月には当アプリと株式会社マネーフォワードが提供する自動家計簿・資産管理サービス「マネーフォワード」との連携をスタートさせました。これにより、金融資産の管理・運用と同様に、「所持品=資産」としての管理・運用を促し、潜在顧客に対するアプローチを強めてまいりました。また、当社においては「なんぼや」を新たに4店舗、子会社の株式会社古美術八光堂においては「古美術八光堂」を新たに1店舗オープンし、売上高増大のための買取拠点の拡充・商品仕入れの強化を継続して進めてまいりました。さらに、「STAR BUYERS AUCTION」の香港大会を平成29年9月、11月、平成30年2月の計3回開催し、国内での販売に加え海外での売上も確保いたしました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は15,390,414千円、営業利益は1,191,037千円、経常利益は1,174,496千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は867,840千円となりました。

なお、当社グループは「ブランド品、骨董・美術品等リユース事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間における流動資産は、現金及び預金の増加548,655千円、売掛金の増加640,692千円、商品の増加533,492千円等により、前連結会計年度末に比べて1,701,131千円増加し、8,580,195千円となりました。固定資産は、減価償却累計額の減少115,520千円があったものの、建物の増加123,937千円、繰延税金資産の増加125,281千円等により、前連結会計年度末に比べ123,665千円増加し、3,336,894千円となりました。これらの結果、総資産は前連結会計年度末に比べ1,824,797千円増加し、11,917,090千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間における流動負債は、短期借入金の増加1,136,566千円、前受金の増加215,852千円等により、前連結会計年度末に比べ1,392,552千円増加し、5,754,079千円となりました。固定負債は、長期借入金の減少193,496千円等により、前連結会計年度末に比べ333,987千円減少し、2,131,051千円となりました。これらの結果、負債額は、前連結会計年度末に比べ1,058,564千円増加し、7,885,131千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間における純資産額は、前連結会計年度末に比べて766,232千円増加し、4,031,958千円となりました。これは主に、利益剰余金の増加769,372千円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ530,647千円増加し、3,188,453千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各区分ごとのキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、87,530千円の収入となりました。これは主に、売上債権の増額640,692千円、棚卸資産の増額532,261千円による資金の減少があった一方、税金等調整前四半期純利益1,159,676千円、減価償却費139,763千円による資金の増加があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、195,747千円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出140,565千円による資金の減少があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、642,344千円の収入となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出227,856千円による資金の減少があった一方で、短期借入金の増額1,136,566千円による資金の増加があったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年8月期の連結業績予想につきましては、平成30年3月22日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,994,861	3,543,517
売掛金	114,187	754,880
商品	3,425,913	3,959,406
その他	433,727	425,075
貸倒引当金	△89,626	△102,683
流動資産合計	6,879,063	8,580,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,118,899	1,158,661
その他(純額)	334,182	347,521
有形固定資産合計	1,453,082	1,506,183
無形固定資産		
のれん	662,713	588,696
その他	155,355	141,652
無形固定資産合計	818,068	730,349
投資その他の資産		
差入保証金	922,945	952,230
その他	19,132	149,871
貸倒引当金	—	△1,740
投資その他の資産合計	942,077	1,100,362
固定資産合計	3,213,228	3,336,894
資産合計	10,092,292	11,917,090

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,311	5,291
短期借入金	2,713,434	3,850,000
1年内償還予定の社債	160,000	160,000
1年内返済予定の長期借入金	438,872	404,512
未払法人税等	408,032	494,214
賞与引当金	151,680	166,656
資産除去債務	—	4,650
その他	485,197	668,756
流動負債合計	4,361,527	5,754,079
固定負債		
社債	320,000	240,000
長期借入金	1,435,852	1,242,356
役員退職慰労引当金	40,216	45,095
資産除去債務	371,345	394,952
その他	297,626	208,648
固定負債合計	2,465,039	2,131,051
負債合計	6,826,567	7,885,131
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,600	255,600
資本剰余金	243,377	243,377
利益剰余金	2,767,543	3,536,916
株主資本合計	3,266,521	4,035,893
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△795	△3,935
その他の包括利益累計額合計	△795	△3,935
純資産合計	3,265,725	4,031,958
負債純資産合計	10,092,292	11,917,090

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
売上高	15,390,414
売上原価	10,988,551
売上総利益	4,401,862
販売費及び一般管理費	3,210,825
営業利益	1,191,037
営業外収益	
受取利息	149
その他	11,659
営業外収益合計	11,809
営業外費用	
支払利息	13,819
支払手数料	8,241
為替差損	5,406
その他	882
営業外費用合計	28,350
経常利益	1,174,496
特別損失	
減損損失	14,820
特別損失合計	14,820
税金等調整前四半期純利益	1,159,676
法人税、住民税及び事業税	438,856
法人税等調整額	△147,021
法人税等合計	291,835
四半期純利益	867,840
親会社株主に帰属する四半期純利益	867,840

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)
四半期純利益	867,840
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△3,139
その他の包括利益合計	△3,139
四半期包括利益	864,700
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	864,700
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自平成29年9月1日 至平成30年2月28日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,159,676
減価償却費	139,763
のれん償却額	73,891
貸倒引当金の増減額(△は減少)	14,797
賞与引当金の増減額(△は減少)	14,976
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,879
受取利息及び受取配当金	△149
支払利息	13,819
減損損失	14,820
売上債権の増減額(△は増加)	△640,692
たな卸資産の増減額(△は増加)	△532,261
仕入債務の増減額(△は減少)	979
その他	183,485
小計	447,985
利息及び配当金の受取額	149
利息の支払額	△14,237
法人税等の支払額	△346,367
営業活動によるキャッシュ・フロー	87,530
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△140,565
無形固定資産の取得による支出	△3,985
資産除去債務の履行による支出	△3,942
差入保証金の差入による支出	△35,181
差入保証金の回収による収入	5,766
その他	△17,838
投資活動によるキャッシュ・フロー	△195,747
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額(△は減少)	1,136,566
長期借入金の返済による支出	△227,856
社債の償還による支出	△80,000
配当金の支払額	△98,468
その他	△87,897
財務活動によるキャッシュ・フロー	642,344
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,480
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	530,647
現金及び現金同等物の期首残高	2,657,806
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,188,453

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、「ブランド品、骨董・美術品等リユース事業」のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(公募による新株式の発行)

当社は、平成30年2月16日及び平成30年3月5日開催の取締役会において、下記のとおり公募による新株式の発行を決議し、平成30年3月20日に払込が完了しております。その概要は次のとおりであります。

(1) 募集方法	一般募集（ブックビルディング方式による募集）
(2) 発行する株式の種類及び数	当社普通株式449,100株
(3) 発行価格	1株につき3,300円
(4) 発行価格の総額	1,482,030,000円
(5) 引受価格	1株につき3,036円
(6) 引受価格の総額	1,363,467,600円
(7) 資本組入額	1株につき1,518円
(8) 資本組入額の総額	681,733,800円
(9) 払込期日	平成30年3月20日
(10) 資金の用途	①商品を買入れる店舗の新規出店のための設備投資、②業務効率化等を含む既存システムの強化及び販売促進に向けたソフトウェア開発のための投資、③店舗等への継続的な集客のための広告宣伝費に充当する予定であります。